

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第462号 平成24年12月25日

金と乱

日本漢字能力検定協会は12日、「今年の漢字」について、25万通余りの応募の内、9千通余りを獲得して1位になった「金」という字が選ばれたと発表しました。

「金」という字が選ばれた理由は、「金環日食のほか、ロンドン五輪での日本人選手の活躍や、高さ世界1の自立式電波塔として開業した東京スカイツリー、山中京都大教授のノーベル賞受賞などで、多くの金字塔が打ち立てられた」事が理由として挙げられている（12月13日付朝日新聞）とのことです。

なお、2位以下は、「輪」、「島」、「領」、「乱」と続いており、この中で「輪」は五輪の輪という事のようなので、今年はオリンピックの印象が殊の外深かったという事でしょう。

同時に、「島」、「領」という字が上位に来ていますが、これは北方領土や竹島、更には尖閣を巡っての問題が国民的関心を呼んだ結果だと思えます。「乱」もまた、政治的混乱を如実に表す1字です。

因みに、2000年の「今年の漢字」も、今年と同様「金」でした。この年は、シドニーオリンピックが開催された年で、女子マラソンの高橋尚子さんや女子柔道の田村亮子さんらが金メダルを取りました。また、金大中と金正日による初の南北首脳会談が開かれたり、二千円の新紙幣が誕生したりと、「金」にまつわる話題の多い年でした。

ただ、今年の場合は、尖閣列島をはじめとする領土問題、消費税の引き上げや衆議院の解散など、国の将来に関わる重要な問題が多発した年でした。その意味からすれば、「金」という字を1番に選ぶという感覚はどんなのかなという感じがします。

Yahoo では、今年の漢字に「金」が選ばれたことについて、利用者に感想を求めているのですが、今日現在の状況を見ると、「納得」と答えた人が約1万人、「違う漢字の方が良い」と答えた人が約3万8千人となっており、私と同様「金」という字に今一つしっくり来ていない人が多いようです。

「今年の漢字」については、日本漢字能力検定協会とは別に、主に東京の大学に通う学生でつくる「大学生の漢字2012実行委員会」も12日に、全国の大学生が選んだ「今年の漢字」を発表しています。それによると、1位が「乱」という字で、2位以下は「輪」、「金」、「変」、「新」と続いています。

「乱」が選ばれたのは、衆議院の解散や政党乱立、中国での反日デモ等での乱闘騒ぎ、経済の混乱などが理由として挙がっている（12月12日付朝日新聞）そうですが、大学生達の選択には頷けるものがあります。

また、「大学生の漢字2012実行委員会」では、「今年の漢字」と同時に「次期政権に期待する漢字」も募集しています。その結果1位に選ばれたのは「信」、2位は「誠」、3位は「強」でした。

大学生ならずとも、次期政権には、国民に信頼され、国民の負託に誠実に応え、そして、決めるべき事をしっかりと決め実行する、そうした強力な実行力を期待せずにはおられません。（塾頭：吉田 洋一）